
有り得ない世界にわたし

kiiro

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

有り得ない世界にわたし

【Nコード】

N9203Z

【作者名】

kiir o

【あらすじ】

知らないけど、マフィアの娘に。

とりあえず、一生懸命に生きる事を目標に毎日を過ごす。

なぜ、どうして異世界に来たのかはわからないけど

、幸せに成るために頑張ってるうちに色々勘違いされて、話が大きくなってきた話。

お嬢様について その1（前書き）

色々不慣れで間違いもいっぱいですが、許してください。

沢山、言いたい事いっぱいでも、優しく見守ってください。

完走出来るようにがんばります。

お嬢様について その1

とりあえず、今日も地道に地味にいきる事を目標に頑張ろう！

自室のベッドの上で決意表明をしていた。

この世界に生きる事になってからの習慣。

「お嬢様、朝食の準備が整いました」

柊。

彼は、わたしの従者。

わたしの面倒を幼き頃から見てもらっています。
きっと、嫌がられてはいないと思いたい。

「ありがとう。」

高そうなカップにお湯を注ぎ込みながら、彼はニコリと口元を上げた。

「本日は、ファミリーの皆様方ご集合の御命令が、お嬢様もと旦那様がおっしゃっております。」

「そう、わかりました。参ります。」

わたしはそう答えながら、面の厚くなった顔を笑顔に変えた。

何が起こっても驚くなんて顔は、表に出さないでいられる自信がある。だって、それくらいしか私には武器がない。

こんな変な世界に対応出来るわけない!?

ない!?

だって、だって、だって、

マフィアのドンの娘って何!!!

お嬢様について その1（後書き）

完走出来るようにがんばります。
よろしくお願いします！

お嬢様について その2

私が初めて従者としてお勤めする事になったのは、12歳。
父に連れられ、バレルファミリーの本部にやってきた。今から15年前だ。

バレル島を本部としている為、そう言われているバレルファミリーは、この世界で5本の指に入る大きなマフィアだ。

バレルファミリーのドンには、3人の娘がいる。

長女、イノリさま。

二女、ミノアさま。

三女、ヒノエさま。

3人のうち、末のヒノエさまは、奥様が違う方からお生まれになっている。

わたしは、三女ヒノエさまの従者として推挙された。お嬢様、当時2歳。

ヒノエさまの従者になるに辺り、マフィアとして力のあるもので、年も近きものではなくてはならないと強く、ドンとドンナに言われた。

父は、ドンの幹部を務めていた。

2歳と12歳。

近くはないと思うが、私が従者になった。

ドンのお様は、金髪波うつ背の高い美人だ。

ヒノエさまは、黒髪で黒眼。腰程にある髪は、艶やかであるが、真つすぐ伸びている。

背も190センチほどある私から見るとかなり低い。

先日、145センチほどであると、専属の医師が言っていた。

当然、3人のうちでも一番低い。

イノリさまは、171センチ。

ミノアさまは、177センチ。

可愛らしいお顔に小さい背。

御本人は気にしているらしく、お食事は何時も魚をメインにし、ミルクをお飲みになる。

マフィアの娘だが、好戦的で派手な上の2人に対し、温和しめな方だ。慈悲深い方であり、血生臭い事を嫌うため、マフィアの役目は少々酷ではないかと思った。

14年前

「ひーらぎ、おじちゃん倒れてる。たしゅけて。」

侵入した賊をみてそうお嬢様はおっしゃって、慌てて私の方に向かって走って来た。

そいつは、今お嬢様の運転手兼護衛をしている渡だ。

11年前

「柊、倒れてた。どうしよう。」

雨の日、雨具を羽織っていたお嬢様は、一生懸命走って来て私を呼んだ。

それらは、現在お嬢様のペット兼友人となっている、フォボスにデイモスだ。
因みに鷹である。

お嬢様は、マフィアのボスの娘である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9203z/>

有り得ない世界にわたし

2011年12月28日22時54分発行